

市営競輪場 (昭和29年)

宇都宮市営競輪場のメインスタンドを捉えた写真の今昔。

競輪場は、昭和25年に戦災復興事業の一環として造られました。その収益金は、学校建設などに使われ、本市の戦後復興に寄与しました。今でもさまざまな公益的な事業に役立っています。

現在のメインスタンドは、平成21年に改築された3代目。ちなみに、昭和29年の写真に写っているメインスタンドは、大谷石で造られていました。



はつらっ宮っこ

今、輝いている市民

プレッシャーが大きいほど心が躍る
誰よりも強く 世界の頂点へ

宇都宮短期大学附属高等学校 野沢 大喜だいきさん

空気の入ったエアーツフト剣で、有効打となるポイントを奪い合うスポーツチャンバラ。8月の全日本選手権大会兼世界選手権日本代表選考会で優勝した野沢さんは、11月の世界大会出場を決めました。「相手が強いほどわくわくします。プレッシャーが力になるんです」という強心臓ぶりで、初段の野沢さんを上回る7段の選手や道場の指導者など強豪を次々に打ち破り、激戦の頂点に立ちました。スポーツチャンバラを始めたのは6歳の時。剣道経



験者のお父さんの勧めがきっかけでした。困難にも負けずに、持ち前の好奇心とひたむきさで着実に力をつけ、小学5年、中学2・3年と世界大会で3度の優勝を経験。高校入学後は、創部されたスポーツチャンバラ部で、主将として練習を重ねてきました。

世界大会に向けて「高校最後の大会。必ず優勝します」と笑顔で話す姿に、気負いの雰囲気はありません。「勝てない相手は誰一人いないと言える、真の世界一になりたいです」と大きな夢を描く野沢さん。自然体で強豪を打ち破り続ける、その活躍に注目です。

